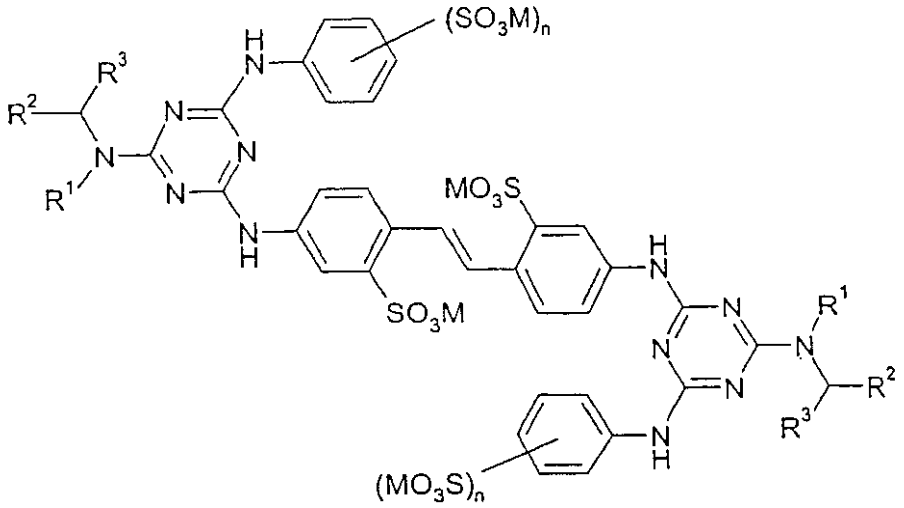
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年8月7日(2008.8.7)

【公表番号】特表2008-505856(P2008-505856A)
【公表日】平成20年2月28日(2008.2.28)
【年通号数】公開・登録公報2008-008
【出願番号】特願2007-517302(P2007-517302)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 251/70 (2006.01)
Ｄ０６Ｍ 13/355 (2006.01)
Ｄ０６Ｍ 15/53 (2006.01)
Ｃ０９Ｂ 57/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｋ 11/06 (2006.01)
Ｄ０６Ｍ 101/06 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 251/70 ＣＳＰＦ
Ｄ０６Ｍ 13/355
Ｄ０６Ｍ 15/53
Ｃ０９Ｂ 57/00 Ｗ
Ｃ０９Ｋ 11/06 ６３０
Ｄ０６Ｍ 101:06

【手続補正書】
【提出日】平成20年6月23日(2008.6.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下式（１）の化合物。

【化１】



(1)

（Ｍは、水素、アルカリ金属カチオン、アンモニウム、又はＣ$_2$－Ｃ$_3$ヒドロキシアルキル基で１、２又は３置換されているアンモニウムであり、
ｎは、１又は２であり、
Ｒ^{1}は、水素、ヘテロ原子によって置換されてはならない直鎖Ｃ$_1$－Ｃ$_8$アルキル基又は分岐Ｃ$_3$－Ｃ$_8$アルキル基であり、並びに
Ｒ^{2}及びＲ^{3}はそれぞれ、ヘテロ原子によって置換されてはならず、かつ環を形成してはならない、直鎖Ｃ$_1$－Ｃ$_8$アルキル基又は分岐Ｃ$_3$－Ｃ$_8$アルキル基である。）

【請求項２】
Ｍが、水素、アルカリ金属カチオン又はアンモニウムであり、
ｎが、１又は２であり、
Ｒ^{1}が、水素、ヘテロ原子によって置換されてはならない直鎖Ｃ$_1$－Ｃ$_4$アルキル基又は分岐Ｃ$_3$－Ｃ$_5$アルキル基であり、並びに
Ｒ^{2}及びＲ^{3}がそれぞれ、ヘテロ原子によって置換されてはならず、かつ環を形成してはならない、直鎖Ｃ$_1$－Ｃ$_4$アルキル基又は分岐Ｃ$_3$－Ｃ$_6$アルキル基である、請求項１に記載の化合物。

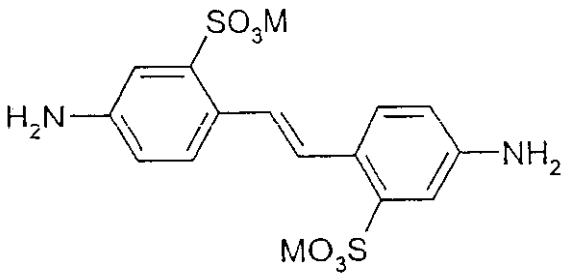
【請求項３】
Ｍが、水素、ナトリウム又はカリウムであり、
ｎが、１又は２であり、
Ｒ^{1}が、水素、メチル、エチル、プロピル又はｉ－プロピルであり、並びに
Ｒ^{2}及びＲ^{3}がそれぞれ、メチル、エチルもしくはプロピル、又はｉ－プロピル、ｉ－ブチル、ｉ－ペンチルもしくはｉ－ヘキシルである、請求項２に記載の化合物。

【請求項４】
Ｍが、水素又はナトリウムであり、
ｎが、１又は２であり、
Ｒ^{1}が、水素又はメチルであり、並びに
Ｒ^{2}及びＲ^{3}がそれぞれ、メチル又はエチルである、請求項３に記載の化合物。

【請求項５】
請求項１～４のいずれか１つに記載の化合物又はこれらの混合物１０～４０質量％を含む水溶液。

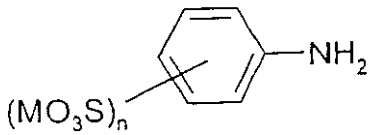
【請求項６】
ポリエチレングリコール５～２０質量％をさらに含む、請求項５に記載の水溶液。

【請求項７】
ハロゲン化シアヌルと、ａ）下式のジアミン、
【化２】



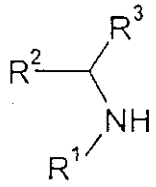
(2)

ｂ）下式のアミン、及び
【化３】



(3)

ｃ）下式のアミン
【化４】



(4)

（Ｍ、ｎ、並びにR^1、R^2及びR^3の基は、請求項１～４のいずれか１つに定義したものを意味する。）との段階的反応による、請求項１～４のいずれか１つに記載の化合物の調製方法。
【請求項８】
式（３）の前記芳香族アミンがアニリン－２，５－ジスルホン酸であり、及び式（４）の前記脂肪族アミンがイソプロピルアミン、Ｎ－メチルイソプロピルアミン又は２－ブチルアミンである、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
ａ）請求項１～４のいずれか１つに記載の蛍光増白剤を、架橋可能な仕上げ剤に、処理浴中で添加しあるいは事前に添加し、
ｂ）該仕上げ剤を架橋し、及び
ｃ）その処理した布地を乾燥する工程を含む、仕上げ段階におけるセルロース布地の蛍光増白方法。
【請求項１０】

ａ）顔料の入った被覆組成物に、又はサイジング溶液もしくは懸濁液に、請求項１～４のいずれか１つに記載の蛍光増白剤を添加し、あるいは請求項５又は６のいずれかに記載の溶液を添加し、

ｂ）該被覆組成物又は該サイジング溶液もしくは懸濁液を紙に適用し、及び

ｃ）その処理した紙を乾燥する工程を含む、紙の蛍光増白方法。

【請求項１１】

結合剤２～１５質量％を前記サイジング溶液又は懸濁液に添加する追加の工程を含む、請求項１０に記載の方法。